

IB 音楽 指導の成果と課題

音楽 SL 平野 充

はじめに

昨年から開始した新カリキュラムは、実技課題以外の内容がほぼ一新された。

DP 音楽(SL)について

DP 音楽は6番目のグループ ‘The Arts or electives’ の中に含まれる。Drama (演技)、Visual Art(美術)、Film(映画)などの選択科目があるが、日本の公立高校(DLDP)では Visual Art か Music (または両方)を提供している。本校では Music SL を選択できる。

DP 音楽(SL)シラバスについて

「文脈に沿った音楽の探究」

生徒は、自らの音楽の世界を広げ、より幅の広い音楽創作につながるような刺激を与えてくれる多様な音楽への取り組み方を学ぶ。

「音楽の実験」

理論的研究を実技に結びつけ、取り組んでいる音楽についての理解を深める。

「音楽の発表」

聴衆を前にした演奏または発表に向けて楽曲を練習し、その完成度を高めていくことを学ぶ。

DP における評価

外部評価 1 「文脈に沿った音楽の探究」

生徒は以下の成果物をポートフォリオ形式で提出 (4800 字以内)

- a. 記述課題：多様な音楽的素材について取り組み、理解したことを実証する。
- b. 実演課題：
 - ・ 創作：創作楽曲 1 作品 (楽譜で 32 小節以内あるいは演奏時間 1 分相当)
 - ・ 演奏：地域的あるいはグローバルな文脈に沿った音楽作品を、生徒自身の楽器用に編曲し、演奏する (2 分以内)

外部評価 2 「音楽の発表」 (コロナため評価せず)

- a. 研究者として発表 プログラムノート (1200 字以内)
- b. クリエイターとして発表 作曲作品および即興作品 (6 分以内)
- c. 演奏者として発表 ソロおよびアンサンブル(またはそのいずれか) (12 分以内)
抜粋 (該当する場合) (2 分以内)

内部評価

「音楽の実験」

1. 実験レポート
 - ・ 実験の論理的根拠 - 創作と演奏について 3000 字以内のレポート
 - ・ 音楽的選択についてのコメントリー
2. オーディオエビデンス
 - ・ 創作実験に関連する 3 つの音源抜粋 (5 分以内)
 - ・ 演奏実験に関連する 3 つの音源抜粋 (5 分以内)

アンケート調査

DP 音楽 (SL) を選択した 3 年生 3 名の生徒を対象に、DP 音楽 (SL) について授業についてアンケートを実施した (生徒の書いたものをそのまま引用)。

1. DP 音楽 (SL) を選択した理由を教えてください。

- ・ 音楽活動を幼いころから行っており、音楽が好きだったことが 1 番の理由です。そのため、好きな音楽をより専門的に深く学べたらいいなと考え選択しました。また、裏の科目が化学だったこともあります。
- ・ 元々ピアノを小さい頃から行っていて、それを活かしたく、DP 音楽のある学校に入学したから。
- ・ 小さい頃から音楽に触れる機会が多かったため。もう 1 つの選択が化学だったので、苦手意識を感じたため。

2. DP 音楽 (SL) の指導について

- ・ 作曲、編曲に必要な音楽理論を多く学ぶことができてよかったです。また、少人数ということもあり、生徒それぞれが実践して取り組めたので、自分の作編曲の活動に役立ったと思います。先生からの指導だけでなく、生徒同士で指摘し合う機会が多くあって、生徒主体の授業でよかったです。
- ・ 生徒の人数が少ないため、先生との距離も近く、楽しく授業を受けている。
- ・ 私の代は少人数のクラスだったので、お互いの作品を聞きあったり、音楽理論について一緒に考えたりと実践的に取り組めたところがよかったです。

3. DP 音楽 (SL) の学習内容について

- ・ 途中でカリキュラムに変更があり、実技がなくなったのもあり、仕方がないとは思いますが、作編曲の練習をもう少しできれば、レポートに余裕をもって取り組めたのかなとかんじました。音楽理論をこまめに復習できたのがよかったです。
- ・ 作曲、編曲の作業が大変だった。内容が勉強じゃないため、楽しく学ぶことができた。

- ・シラバスがあいまいな部分が多く、過去の例が少ないため、クラスの中でも毎回確認しなくてはならないほど大変だった。複雑のため理解することは大変だが、4つの領域から多様な音楽が学べてよかった。

4. DP 音楽(SL)のどのような点が特に役立ちましたか

- ・曲の分析をすることで、自分が普段聴く音楽の捉え方が変わったり、作曲する際に取り組む段階などを学ぶことで、曲の構成を知るのに役立ったと思います。
- ・音楽の分析を行う際、音感を鍛えられた。
- ・自分の興味からテクノロジーや楽器を用いて実践的に音楽の学習に取り組めたところが、理論や音楽の構成について深い理解を得ることに役立った。

5. DP 音楽 (SL) をどのような点を改善したほうがよいですか

- ・一般的な音楽理論はそうですが、課題に直結する学習内容の時間を取り入れたらよかったと思います。レポートは作編曲が多いのと、文章もあるので、時間をかけて授業内でできたらよいと思います。
- ・シラバスをもっと読みやすく、理解しやすくする。
- ・学習内容についてももう少し明確に分かるとよりよかった。

6. 一番印象に残っている単元や活動は何ですか？それはなぜですか？

- ・ガレージバンドでの作編曲が一番印象に残っています。今までピアノベースでの学びが主体だったので、新しく学べることが多く、できることも広がったので、刺激があり楽しかったです。
- ・DP の演奏、一生懸命行った練習や6手連弾の初挑戦など印象に残っている。演奏が最終試験の項目でなくなったことが非常にショックだった。
- ・ガレージバンドで作品を作ったことが一番印象的だった。様々な音やリズムを用いて1つの作品を構成する段階を1から知ることができたため。自分自身が作りたいと考えるイメージを作り上げる工程が楽しかった。

DP 音楽(SL)における成果と課題

最終課題の結果では、予想に反して、全生徒の評価が「文脈に沿った音楽探究」より「音楽の実験」の方がよかった。次回から「音楽の発表」も加わるので、マークスキームやフィードバックを参考に対策していきたい。